

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

	コード	名 称		コード	名 称	
事業名	262	遺家族等援護事業	会計	01	一般会計	
基本施策	7	老後の生活や低所得者の自立を支える	款	03	民生費	
			項	01	社会福祉費	
			目	01	社会福祉総務費	
担当部課名		厚生保護課	細目	104	遺家族等援護事業	
作成者氏名	今高 光芳	連絡先	22 - 2610	細々目	01	遺家族等援護事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	遺家族及びその会員	成果(どうなるのか)	会員の福祉の増進を支援し、会員相互の交流を図る。			
	本年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・戦没者追悼式を実施する ・地区慰霊祭供物をお供えする ・遺族会の活動に補助金を支出し支援する ・地区慰霊祭の開催する ・会員の親睦を深める行事を実施する ・第8回特別弔慰関係事務を実施する(17年度から) 					
	開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

投入人員	正規職員 (人)	H17	H18(予算)	H19(予算)
	臨時職員	2	0.3	0.3
	人件費合計(A)	17,574	2,160	2,160
支出内訳(千円)	事業費(B)	2,703	3,483	3,354
	委託料	504	504	504
	需用費	693	1,163	1,163
	その他	1,506	1,816	1,687
合計(A+B)		20,277	5,643	5,514
財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	20,277	5,643	5,514
上記 ~ に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
戦没者追悼式参加人員	人	800	800	800			
遺族会への補助	金額	250	1296	1167			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
戦没者追悼式の参加者	参加者数が減少しないかを指標としたい	人	800 目標	800	800
戦没者追悼式の参加出席率	出席者 / 戦没者遺族数 × 100	%	23 目標	23	23

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

戦没者追悼式は17年度から一本化していて、遺族会への補助は18年度から一本化された。
遺族会の事務局は、社協が実施している。

評価	必要性	4	戦没者の慰霊は永遠に必要なことである。	総合評価
	有効性	3		
	達成度	4		
	効率性	3		
				A